



ギャンブル等お金の使い方が 苦手な方との向き合い方

SNSなどのオンラインツールが多様化する中で、ギャンブル等による金銭問題を抱える方が増えています。多重課題を目の当たりにしながら、支援者としてどのように向き合うべきかを悩むこともあるのではないのでしょうか？

今年度第1回目の研修会では、ギャンブルをはじめとして、金銭問題をかかえることになってしまった方との向き合い方について考えます。支援者として大切にしたいこと、必要な心構えについて一緒に学びましょう。



WEBフォームにてお申込み下さい（〆切5月12日）



日時：令和7年5月17日（土）13時～14時50分

※15時～16時のグループワークは鳥取県会員限定です

開催：Zoomと会場のハイブリッド開催

参加費：無料

- ・ 講演 認定NPO法人 ワンダーポート理事長
司法書士
稲村 厚氏（講師紹介は裏面をcheck!）
- ・ グループワーク 事例を元に意見交換（鳥取県会員限定）
- ・ まとめ

お問合せ

鳥取県精神保健福祉士会 事務局 前川・河本・飯田
682-0023 鳥取県倉吉市山根43 倉吉病院地域連携室内
電話0858-26-1190（直通）0858-26-1011（代表）

稲村 厚 氏

【稲村 厚 (いなむら あつし) 氏】

司法書士

認定NPO法人ワンデーポート理事長

認定NPO法人リカバリーサポート・ネットワーク副代表理事

一般財団法人ギャンブル依存症予防回復支援センターSV

千葉県県支援保健福祉センター及び千葉市こころの健康センターギャンブル依存症非常勤相談員。

久里浜医療センターギャンブル依存症研修講師、多摩総合精神保健福祉センター等においてギャンブル問題を持つ家族セミナーの講師を務める。

その他、ギャンブル等プロセス依存における金銭問題に関するテーマでの講師を多数経験。

【稲村 厚 氏 書籍】

2007年 「病的ギャンブラー救出マニュアル」PHP研究所 共著

2012年 「ギャンブル依存との向き合い方 一人ひとりにあわせた支援で平穏な暮らしを取り戻す」明石書店 共著

2016年 (2022年増補版) 「ギャンブル依存と生きる 家族、支援者と生きづらさを乗り越えるために」彩流社 単著

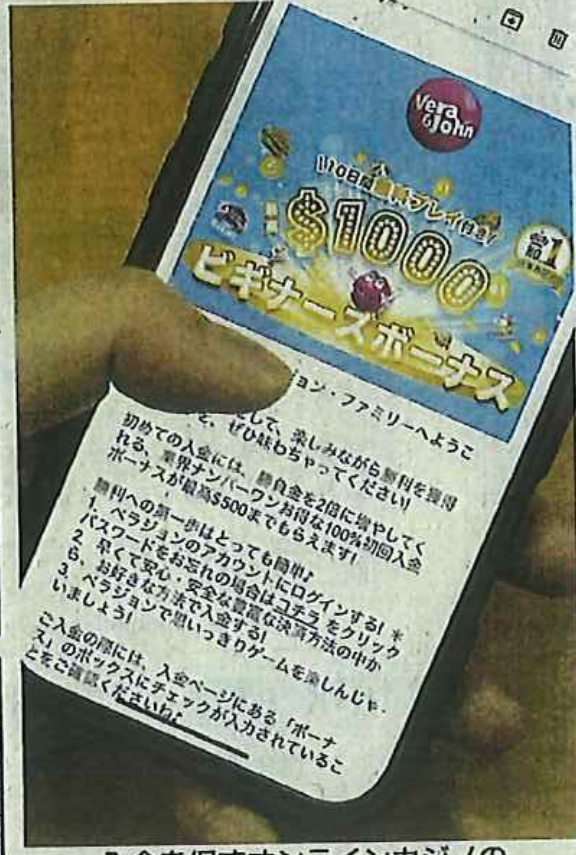
2022年 「誤解だらけのギャンブル依存症」彩流社 共著



手軽な賭博 対策後手

オンラインカジノまん延

オンラインカジノに関する国の初調査で、利用経験者が推計約37万人に上り、違法賭博がまん延している実態が浮き彫りになった。スマートフォンからゲーム感覚で手軽に始められ、違法性を認識せぬのめり込む人が続出。後手に回る政府には抜本的対策が求められ、巧みな誘い文句を並べる海外サイトに接続させない仕組み作りが鍵となる。(2面に関連記事)



入金を促すオンラインカジノのメール

◆警告は一切なし
オンラインカジノのライセンスを有し、日本からも多数アクセスされている「ベラジョンカジノ」。「さっそく入金して、楽しんで」

海外から誘い 接続遮断 仕組み作り鍵

◆法整備動き加速
今年に入り、人気芸人やプロ野球選手らが利用していた実態が明らかになり、抜本的な対策を求め



が、違法性の周知は極めて乏しい。警察庁によると、2024年のオンラインでの賭博事犯は59件で、279人(暫定値)を摘発し過去最多となった。自宅でスマホやパソコンなどからサイトにアクセスして賭博を行う「無店舗型」の摘発が大半だった。警察は客だけでなく、円や暗号資産(仮想通貨)をカジノで使うポイントに交換したり出金したりして手数料を得る「決済代行業者」や、交流サイト(SNS)などで違法サイトを紹介して運営側から報酬を得る「アフィリエイト」などの摘発も推進。著名人を広告塔として起用しているケースもあり、警察庁は賭博ほう助の疑いがあるとして注意喚起する。事案によっては捜査対象となる可能性も示唆する。

「元を絶つ手だてが必要だ」。2月28日の衆院予算委員会分科会で、立憲民主党の阿部祐美子氏は、違法なオンラインカジノの利用拡大を食い止めるよう主張。総務省幹部は、サイトへの接続を遮断する「ブロック」の検討も視野に、有識者による議論を始める考えを示した。早期の対策が必要として、与野党では今国会での法整備に向けた動きも加速する。

インターネット上には日本人向けにオンラインカジノを紹介する「リーチサイト」もはびこっており、警察庁幹部は「違法賭博情報」が野放しになっている」と対策が遅れに焦りをにじませる。関係省庁が連携し、通信事業者の協力も得た上で「サイトへ容易にアクセスできる状況を一刻も早く変えなければいけない」と語気を強めた。

◆「ゲームの延長」
学生、違法性認識なく
若い人にとって「ゲームの延長」。キャンブル依存症からの回復を支援するNPO法人ワンデーポート(横浜市)の稲村厚理理事長は、スマートフォン一つでできるオンラインカジノをこう評する。政府も若者向けの対策を進める方針だが、稲村さんはキャンブルが習慣化している日常を変えることが必要だと訴える。

稲村さんによると、オンラインカジノの利用者による相談が一気に増えたのは、新型コロナウイルス禍で外出が制限された時期。借金を抱えたり、不安になったりして相談に来るのは20代が顕著に多く、年齢は高くても30代だ。友人に誘われて手を出し、違法性の認識がない学生も多い。競馬などの公営ギャンブルもスマホで投票できる。

稲村さんは、これらの対策も有効とした上で、依存症まで進んでしまう人はギャンブルが習慣化していることに注目する。「スपोर्ट」など夢中になれるものが他に見つかる、習慣が抜ける人もいる」と話し、家族や周囲の人がこうした特性を理解し、支援することも必要だと強調した。

お困りの時は…すぐに駆け付けます。
すべてのプランに「お棺」が含み、ご予算9.9万円(税込)より承ります。
100名様収容可能な家族葬の愛敬
0120-129465

◆…青森真風
間浦村の下風呂
漁港で8日、特産のアンコウを楽しめる「風間浦鮫感謝祭」があり、村内外の来場者が目で舌で魅力を堪能した。

◆…会場では、つるし切りや専らを当てるクイズが

◆…アンコウの肝(肝臓)のおいしさは格別。料理は、硫黄泉が特長の下風呂温泉郷の旅館で今月末まで提供される。あん肝と硫黄泉、ともに独特の味わいを体感してみよう。(青森)

12月の尹錫悦大統領の「非常戒厳」に端を発する韓国内政の混乱の取材に追われていた。代わりに取材班の曾布川剛(42)が昨年末、韓国へ発った。

男性の元へ向かう前に、朝鮮出身の特攻隊員、木村正碩の本籍地である昌原市の姑寺里を訪ねた。



戸籍簿などの資料を見つめる朴友珍さん(仮名) 韓国・慶尚南道

25戦争より前のことなん、私たちが嫁いでくる前にちなみ、韓国ではこう呼ぶ。布川は集会所を離れた。それでも自宅に戻ったハ

「両さん」世界再現 ち亀記念館 22日開館 時代がやっと わしに追いついた 4階では大画面モニターでストーリーを体感できる=13日、東京都葛飾区で(©秋本治・アトリエびーだま/集英社)

337万人、賭け金1.2兆円

オンラインカジノノ経験 警察庁推計

スポーツ界や芸能界で利用者が確認され、波紋を広げる違法なオンラインカジノを巡り、警察庁は13日、国内約2万7千人を対象にした初の利用状況調査の結果を公表した。経験者は3・5%で、実際の人口に換算すると約337万人と推計されることが分かった。

日本でも利用できるサイトは多くは海外で運営されている。国内からアクセスして金を賭ければ刑法の賭博罪に該当するが、未経験者を含む7千人の抽出調査では、43・5%が違法性の認識がなかった。社会に適切な情報が浸透せず、スマートフォンなどで手軽にできる賭博がまん延している実態が明らかになった。

自民党は13日の党会合で「ギャンブル依存症対策基本法」を改正する方針を確認。インターネット事業者

若者には「ゲームの延長」が必要だと訴える。長。ギャンブル依存症からの回復を支援するNPO法人ワンデーポート(横浜市)の稲村厚理理事長は、スマートフォン一つでできるオンラインカジノをこう評する。

政府も若者向けの対策を進める方針だが、稲村さんはギャンブルがく、年齢は高くて30代だ。友人に誘われて手を出し、違法性の認識がない学生も多い。競馬などの公営ギャンブルもスマホで投票できる。クレジットカードで決済し、お金を使っている

警察庁が昨年7月～今年1月、全国の15～79歳の男女2万7145人に利用経験などを質問。うち経験者500人と未経験者6500人の計7千人には、違法性の認識などを尋ねた。

原因の借金経験があった。約2万7千人のうちサイト

外のリライセンスを取得し、7割はカリブ海のオンラインカジノだった。

高野馬場殺害 女性に頼まれ12回 貸した金総額250万円か

東京都新宿区高野馬場の路上で11日、動画のライブ配信をしていた佐藤愛里さん(22)が襲われ死亡した事件で、高野健一(容疑者42)が佐藤さんに、12回にわたって総額250万円を貸したとみられることが、捜査関係者への取材で分かった。